



## 「ない仕事」の作り方

みうら じゅん／著 文藝春秋 2015.11

自分には合う仕事がないかも…と思って落ちこんでいるあなた！ ないなら作ればいいじゃないですか！ 「マイブーム」「ゆるキャラ」など数々の言葉を生み出し、50歳を過ぎた今でも「若手」を続けているみうらさんが、「ない仕事」を作るための手法を一挙大公開！ この本を読めば、死ぬまで安定とは無縁の不安とスリルに満ちた人生を送れることうけあいです！（ちなみにわたしは絶対マネしたくありません）。  
（名古屋市鶴舞中央図書館 むむむ）

みうらじゅん  
ない仕事の  
作り方

気になる本があったら、  
図書館で借りて読んでみよう！  
もし近くの図書館になくても、  
他の図書館から取り寄せてもらえるよ。  
受付のひとに聞いてみてね。



第5号（2018年1月31日）

編集 愛知県公立図書館長協議会  
ヤングアダルトサービス連絡会  
事務局 愛知県図書館  
名古屋市中区三の丸一丁目9-3  
TEL 052-212-2323

\* 所属館名は執筆当時のものです。



WEB版（バックナンバーも掲載しています）→ <https://websv.aichi-pref-library.jp/ya/alc.html>

ティーンのための

## Aichi Librarians' Choice

A・L・C あるく

no.5

愛知県内の図書館員がティーンのに  
オススメの本を紹介するA・L・C

今回のテーマは…「働く！」

### ●ワーキングボーイ

ワーキングガール … p. 1

### ●大人だって！ … p. 5

### ●人間だけじゃない … p. 9

### ●おしえてセンパイ … p. 10



車夫 いたう みく／作  
小峰書店 2015.11

父親の失踪、それに続く母親の出奔。  
ひとり取り残され高校を中退した17歳の走(そう)は、  
陸上部のOBに誘われ、人力車をひいて東京・浅草の街を  
観光案内する「車夫」の仕事をするようになった。走る車夫や  
その人力車に乗った客、周囲の人々の心の動きを描いた連作短編集。  
何もかもをなくし、最初は必要にせまられて働き始めた走が、  
仕事を通して成長し、周りの人と支えあえるようになっていく姿がかっこいい！  
（名古屋市守山図書館 弓）

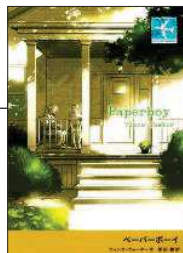
続編の2巻も  
出ているよ！



# ワーキングボーイ ワーキングガール

## ペーパーボーイ

ヴィンス・ヴォーター／作、原田 勝／訳  
岩波書店 2016.7



友だちの代わりに1か月だけ新聞配達をすることになったぼく。きつ音症のせいで  
もってしまうから、金曜日の集金のことを考えるだけで胸が苦しくなってしまう。そんな  
ぼくの前に美しいワージントンさんの奥さんや、彼の話をまっすぐにきいてくれるちょっと  
不思議なスピロさんがあらわれた。黄色いナイフのせいでまきおこった事件もまじえ  
て、ぼくのひと夏が語られていく。(名古屋市鶴舞中央図書館 ちゆ)

友達の代わりに、一か月間配達をすることになった主人公の少年。  
吃音のせいで話すことが苦手な彼は、仕事を通して人と出会い、関わり、成長して  
いきます。  
何のために働くのか？ もちろん得るものはお金だけじゃない。  
時には自分の生き方をも変えてしまうようなことだってあるのです。  
爽やかな後味の一冊。(武豊町立図書館 よみ)

## 家なき鳥

グロリア・ウィーラン／著、代田 亜香子／訳  
白水社 2001.12



主人公のコリーは、13歳で一度も会ったことのない相手と結婚  
させられる。現代インドの社会を映した物語。辛い毎日でもくじ  
けず誰を恨むこともない。今の日本では信じられないほどひどい  
日常の中にも「あたしたちの結婚もそれほど悪いものじゃな  
いかもしれないと思えてきた」と言えるコリーの強さとしなやかさ  
には驚かされ勇気づけられる。出てくる地名も街の設定も実在の  
ものだそうです。(刈谷市中央図書館 大熊猫)



## 働くって何だ 30のアドバイス

森 清／著 岩波書店 2006.4



あなたの周りでは、「働く」ことについて、この本のように真剣・丁寧・事細かに語ってくれる人はいますか？ 生年からすると、著者は皆さんにとってお祖父さん以上の年代の方でしょうから、記述に世代間ギャップがあるかもしれません。しかし、この本は多様な職場や働き方、働くことの根本的な考え方を知る手がかりになる1冊です。具体的な仕事を知る一方で、この本は、自分自身の「働く」指針を培っていくための参考になるでしょう。  
(名古屋市南図書館 うえお)

## 「働く」の教科書

### 15人の先輩とやりたい仕事を見つけよう！

菊地 一文／監修、全日本手をつなぐ育成会／編集  
中央法規出版 2013.4



中高生になると、自分の将来について考え始める方も多くなると思います。そこで、考えははじめの第一歩としてオススメしたいのがこの本です！

本書では、15人の「特別支援学校」を卒業した生徒が、今の仕事を選んだ理由や、その仕事のやりがい、就業中は実際どのようなタイムスケジュールで働いているのかなど、働くことに対して具体的に考える為の情報を紹介してくれます！

本書を読み終わった頃には、将来自分が働いている姿をイメージしやすくなっていると思います。  
(知多市立中央図書館 知多のゴリラ)





### アレグリアとは仕事はできない

津村 記久子／著 筑摩書房 2008.12

このお話は、自称・道具を愛する会社員ミノベと不具合しか吐かない大型コピー機・アレグリアが繰り広げる、小さな闘いの物語。読むと、働くの嫌だなあとってしまう人もいるかもしれませんが、でも働くというのは生きること。やりがいを感じる高揚期もあれば苦勞しかない停滞期もあります。ミノベの働き人としての心情に一文でも共感できたら、くすりと笑えるリアルなお仕事小説です。（東海市立中央図書館 かなかな）

# おしえてセンパイ

### 大人はどうして働くの？

宮本 恵理子／編・著、天野 篤／ほか著  
日経BP社 2014.7



大人になったら、どうして働かなくてはいけないのでしょうか？  
お金のため？ 義務だから？

もちろんそれもあるでしょう。でも、決してそれだけの理由では長続きしないし、  
が、ヒトというもの。

本書では、作家やジャーナリストなど7人の大人たちが、子ども向けのわかりやすい  
文章と、大人向けのちょっと硬い言葉で「働くこと」についてお話しています。

将来のことについて考える、手助けになる1冊です。（津島市立図書館 ★）



### チョコレート・アンダーグラウンド

アレックス・シアラー／著、金原 瑞人／訳 求龍堂 2004.6

こんな法律があったら君はどうする？ 選挙に勝った「健全健康党」は「チョコレート  
売買の禁止」を発令し、甘いお菓子を食べることを禁止した。どうしてもチョコレートを  
食べたい主人公2人は、同意見の大人に作り方を教えてもらい、密造し、地下でチ  
ョコバーを始めた。そして、党との戦いへと発展していく。彼らの働きは痛快で勇気を  
もらえる。分厚い本だけど、大変面白いので、あきらめずに読んでほしい！ 読んだ  
後の達成感も味わえるよ！（あま市美和図書館 あめちゃん）

『チョコレート・アンダーグラウンド  
～ぼくらのチョコレート戦争～』とい  
う劇場版オリジナル・アニメや漫画に  
もなっているよ！



### 靴を売るシンデレラ

ジョーン・パウアー／著、灰島 かり／訳  
小学館 2009.7



16歳の高校生、ジョナは、靴屋で楽しくアルバイトを  
していました。ジョナは靴を知り尽くし、天才的なセンス  
で、瞬く間に靴を売っていきます。

ジョナにとって、ものを売るということは、優秀なセールス  
マンだった父との思い出であり、父とのつながりを感じられる手段です。

その父は、アルコール中毒になって、母と離婚したあとも、酔っ払って電話をかけてき  
たり、ジョナを苦しめます。家族を守るため、ジョナは父と距離を置かなければ…。  
ちょうどそのとき、靴屋の老練な女社長が、ジョナの才能にほれこみ、ドライバー兼ア  
シスタントとして大抜擢！ アメリカの各店舗をまわりながら、時にはスパイのように  
店の様子を観察し、目指す先は、副社長の陰謀？まづ株主総会へ！

（東浦町中央図書館 CO）



## パールストリートのクレイジー女たち

トレヴェニアン／著、  
江國 香織／訳  
集英社 2015.4



1936年、6歳のぼくは、母と妹のアン・マリーと、オールパニーのパールストリートに越してきた。長く不在だった父と暮らすために。しかし約束の日、父は現れなかった。そしてその日から、見知らぬスラム、パールストリートでの三人の生活がはじまる。

6歳にして、病弱でエキセントリックな母の片腕となった「ぼく」は、生活のために夏休み毎日芝刈りをし、早朝からの新聞配達など、働きに働くのである。

「ぼく」の目を通して、スラムの人々の暮らしや、当時のラジオ、音楽、遊びなどのアメリカ文化、また市民が体験した第二次世界大戦を色濃く言葉に映した作品でもある。

とにかく少年の家族を守る愛と成長がすごい!!

(あま市美和図書館 BAMUSE MAMA)

## ライディング・フリーダム

パム・M.ライアン／作、  
こだま ともこ／訳、藤田 新策／絵  
ポプラ社 2001.12



1800年代のアメリカ、まだ、交通は馬車に頼っていた時代の話。両親を亡くし、孤児院で育った一人の女の子シャーロットは、とにかく馬が好きで、馬に乗ることももちろん、厩務員の手伝いをしているうちになんでもこなすことができるようになっていった。

シャーロットは、光が見えない孤児院での生活から逃げ出し、いつか牧場を持ち自分の家に住むという夢をかなえるために、男になりすまし、御者として働いた。女が働くことが許されなかったこの時代に、困難を乗り越え夢をかなえた女性シャーロット・ダーキー・パーク・ハーストの実話をもとにした話。

(みよし市立中央図書館 Y.K.)



# 人間だけじゃない!

## 介助犬シンシアの物語 Good girl! Cynthia

毎日新聞大阪本社／編、  
寺田 操／文、太田 朋／絵  
大和書房 2003.2

介助犬を知っていますか？ 体の不自由な人を助けるために、特別に訓練された犬のことをそう呼びます。

主人公は、事故で車いすの生活を送ることになってしまった“おじさん”と、彼の愛犬である介助犬のシンシア。

けれど、シンシアは最初から介助犬だったわけではありません。どこにでもいる、いたずら好きの子犬だったシンシアが、介助犬としての「お仕事」を学び、「働く」ことで、おじさんや周囲にどんな影響を与えていったのか……。実際にあったことをモチーフにした物語です。(碧南市民図書館 まる。)



この童話絵本以外に単行本・文庫本版の『介助犬シンシア』もあります。TVドラマ「シンシア～介助犬誕生ものがたり」にもなっているよ!

## <刑務所>で盲導犬を育てる

大塚 敦子／著 岩波書店 2015.2



盲導犬候補の子犬を、人間のために働くのが楽しいと思えるような犬に育てることがパピーウォーカーの重要な仕事です。その大切な10ヶ月を、受刑者に社会復帰訓練として委ねるプログラムが島根の刑務所で導入されました。命あるものを世話し、その中で人と係わり、社会に貢献しているという経験をする中で、自分や他人を尊重できるようになっていく姿が丁寧に記録されています。

盲導犬ユーザーが受刑者に語った「自分で自分の居場所をつくるというのは、自分にできることは何かを探すこと」という言葉が印象的です。(愛知県図書館 ほー)

## 空中ブランコ 奥田 英朗／著 文藝春秋 2004.4

トンデモ精神(神経)科医・伊良部一郎の元には、今日も困った患者がやってくる。不眠症のサーカス団員や一塁に送球できないプロ野球選手、吐き気に悩まされる小説家など。

患者はみな仕事に支障が出たことから、通院を決意しています。実生活との兼ね合い、仕事へのプライド……。働くことは自分と向き合うということなのかもしれません。他人の気持ちが少しだけ覗ける名作短篇集。悩めるあなたもヒントを探しに、伊良部総合病院地下の精神(神経)科へ「いらっしゃーい」。

(刈谷市中央図書館 すず)



この本は、「精神科医・伊良部シリーズ」の2巻目です。ドラマ化、アニメ化に、舞台化、オーディオドラマ化も?! 1巻目の『イン・ザ・プール』も単独で映画化されていますが、『Dr. 伊良部』のように、3巻目の『町長選挙』も含めて、全3巻をまとめてドラマ化・漫画化したものもあるよ!

## ジョーカー・ゲーム 柳 広司／著 角川書店 2008.8

“D 機関”それは異能の精鋭たちが集う極秘で設立されたスパイ養成学校…。第二次世界大戦に向かい日本の「自決することが兵士の美德」という考え方は正反対の「死ぬな。殺すな。とられるな。」の考え方を叩き込まれたスパイたちが、敵国で暗躍する。窮地に追い込まれたスパイが切り抜けるためにとった意外な行動とは?!

1話が完結している短編集なので通学中でもすらすら読めると思います。でも、読み始めたら止まらなくなる可能性もあるので、テスト期間中はオススメできません(笑)。

(江南市立図書館 アレクスター・クロウリー)



ジョーカー・ゲーム (D機関シリーズ) は、この後『ダブル・ジョーカー』、『パラダイス・ロスト』、『ラスト・ワルツ』と続きます。映画化やアニメ化、漫画化もされているよ!

小説の神様 相沢 沙呼／著  
講談社 2016.6

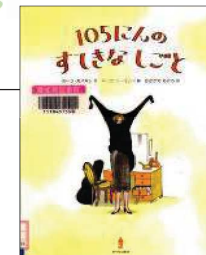
高校2年生の千谷一也は素性を明かさず小説家をしている。作品がなかなか思うように売れず、何を書きたいのか、どうしたいのかもわからなくなり、鬱々とした日々を過ごしていた。そんなとき、転入生がやってくる。すりと伸びた手足、長い黒髪、精緻で研ぎ澄まされた刃物のような美しさを持つ美人転入生、小余綾詩風。実は彼女も作家だった。しかも彼女は“小説の神様”が見えると言う…。

作家さんが苦しみながら、想いをいっぱい詰めながら、生み出されていく小説。心して読もうと改めて感じました。(岡崎市立中央図書館 落花生1号)

## 大人だって!

## 105にんのすてきなしごと

カーラ・カスキン／文、マーク・シーモント／絵、  
なかがわ ちひろ／訳  
あすなろ書房 2012.6



105人のしごとは金曜日の夜、8時30分に町のまん中にある大きな音楽ホールではじまります。さあ、かれらはどんな準備をするのでしょうか? シャワーを浴び、ひげを剃ったり、髪をととのえたり、下着をつけて最後に服を着ます。それぞれの表情やポーズに思わずニヤリ。心をあわせて最高の音楽を奏でる楽団員にも仕事に行く前にはこんなリラックスした時間があるのかと思うととても身近に思えてきます。

(20年ほど前に岩谷時子の訳で出版された同じ本があります。タイトルは『オーケストラの105人』[すえりブックス]、読み比べてみるのも楽しいですよ。)

(あま市美和図書館 こすもす)



## 兎の眼 灰谷 健次郎／著 角川書店 1998.3

ごみ焼却場のある町を舞台に新任の先生が、問題を抱える子どもたちとぶつかり合いながら絆を深めていく物語。

若い先生のとまどいや苦悩が、教育の難しさ、理想と現実の差を感じさせますが、個性豊かな同僚や子どもたちの中で成長していく姿は感動的です。だれかのために何かをするということを考えさせられる一冊です。

(江南市立図書館 ヒトツバタ子)



初版は1974年（理論社）。  
ドラマ化や映画化もされている名作です。

## 給食のおにいさん 遠藤 彩見／著 幻冬舎 2013.10

学校内で給食を作る自校給食に力を入れている若竹小学校に、新しい「給食のおにいさん」佐々目宗がやって来た。自分の腕に自信を持っている佐々目だったが、大量の食事をタイミングよく作らなければいけない給食調理の仕事に悪戦苦闘。さらにそれぞれの事情を抱えた子どもたちに接するうちに、佐々目は料理の大切さを思い出していく。この中のメニューでは、私はくじびきハンバーグを食べてみたい。 (田原市図書館 しろ)

自分の店を火事で失ってしまった、調理師・佐々目宗。生活費を稼ぐため、仕方なく学校の給食調理員として働くことに。子ども嫌いの佐々目は、家でごはんが出ない子、太ってしまった人気子役、保健室登校やアレルギー持ちの子ども相手に奮闘する。昔、料理の素晴らしさを教えてくれた祖母の言葉を思い出しながら。決められたカロリーと限られた予算の中で大量調理をする、壮絶な学校給食の裏側が読めますよ！

(武豊町立図書館 りんご)



この後、シリーズは「進級」、「卒業」、「受験」、「浪人」と続いて、5巻まで出ているよ！



## 舟を編む

三浦 しをん／著  
光文社 2011.9



辞書編集部に移動した馬締は「大渡海」の編集を始める。個性的すぎる仲間たちの中で、馬締は辞書の世界に没頭する。しかし、問題だらけの辞書編集部、果たして「大渡海」は編み上がるのか？

編集部の面々の人間模様はもちろん気になりますが、辞書ってこんなにたくさんの人たちが、長い年月をかけて作っている！というところも注目です。普段、何気なく使っている辞書にも、できるまでにはいろいろな物語があることを実感する一冊です。

(豊田市中央図書館 くるま)

映画化、アニメ化、漫画化もされている「2012年本屋大賞」作品です。

## 天国の本屋

松久 淳／著、田中 渉／著  
新潮社 2000.12



大学卒業を間近に控え、就職がなかなか決まらず落ち込んでいたサトシの前にアロハシャツを着た男が現れ、気付けとサトシは天国にある本屋にいた。アロハシャツの男に店長代理を押し付けられ、なぜか働くことに。同僚は緑色の目をした、ぶっきらぼうな店員ユイ。渋々働くサトシだったが、読み聞かせを通してお客さんが笑顔になるのを見て、生きがいを感じるようになる…。

『本は人に力を与える』、それを実感する作品です。心が疲れたとき、元気がないときにオススメです。

(岡崎市立中央図書館 落花生2号)



シリーズは全4巻。続編として「うつついろのゆめ」「恋火」「あの夏を泳ぐ」…と出ていますが、それぞれ違う主人公のお話です。この本に3巻目の「恋火」を加えて『天国の本屋～恋火』という映画にもなっているよ！